

平成27年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	チーム医療推進事業(特定行為研修における手順書活用事業)			担当部局	医政局		作成責任者	
事業開始年度	平成24年度	事業終了(予定)年度	平成26年度	担当課室	看護課		課長:岩澤 和子	
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-1-1 日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	「チーム医療の推進について」(平成22年3月19日 チーム医療の推進に関する検討会取りまとめ)			
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	専門的な臨床実践能力を有する看護師が医師の包括的指示を受け、看護業務を実施できる仕組みを構築する。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	専門的な臨床実践能力を有する看護師の従事する施設から当該看護師等の業務の実施状況等に関する情報の報告を受け、業務の安全性等を検証する。(委託先)医療機関							
実施方法	委託・請負							
予算額・執行額(単位:百万円)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
	予算の状況	当初予算	92	107	25	0	0	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
	計	92	107	25	0	0		
	執行額	69	60	21				
執行率(%)	75%	56%	84%					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度
	事業終了までに、包括的指示を受け、看護業務を実施する看護師数を目標値以上とする。 ※平成26年度で事業終了	包括的指示を受け、看護業務を実施する看護師数	成果実績	人	32	98	199	
			目標値	人	34	97	70	-
			達成度	%	94.1%	101%	284.3%	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	実施施設数 ※平成24年度は、チーム医療在宅医療推進のための看護業務の安全生等検証事業 看護師特定行為・業務試行事業	平成25年度は、チーム医療在宅医療推進のための看護業務の安全生等検証事業 診療の補助における特定行為に係る医師の指示に基づくプロトコール試行事業	活動実績	施設	25	57	39	
			当初見込み	施設	25	85	40	-
	の実施施設数 ※平成26年度で事業終了							
単位当たりコスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	補助金の執行額/実施施設数		単位当たりコスト	円	2,778,640	1,059,140	537,846	-
	※平成26年度で事業終了		計算式	X/Y	69,466千円/25施設	60,371千円/57施設	20,976千円/39施設	-
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
		-	-					
	計	0	0					

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	医師又は歯科医師の指示の下、プロトコールに基づき、診療の補助のうち、実践的な理解力、思考力及び判断力を要し、かつ高度な専門的知識及び技能をもって行う必要のある行為を行おうとする看護師の研修制度の実現は、ひいては看護業務の安全性の確保につながり、国民のニーズが高い事業である。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	医師又は歯科医師の指示の下、プロトコールに基づき、診療の補助のうち、実践的な理解力、思考力及び判断力を要し、かつ高度な専門的知識及び技能をもって行う必要のある行為を行おうとする看護師の研修制度の実現に向けて、看護師による業務の実施状況等の検証を行うものであり、国が行うべき事業である。			
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	医師又は歯科医師の指示の下、プロトコールに基づき、診療の補助のうち、実践的な理解力、思考力及び判断力を要し、かつ高度な専門知識及び技能をもって行う必要のある行為を行おうとする看護師の研修制度の実現に向けて、看護師による業務の実施状況等の検証を行うものであり、優先度が高い事業となっている。			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	-			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	当事業に必要な経費のみを対象として基準額を定めており、それ以上にかかる経費については受益者の負担としているため妥当である。			
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	当該事業に必要な経費のみを対象としており妥当である。			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	当事業に必要な費目・使途のみに限定されている。			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	実施期間が短かったため、当初の予定より費用がかからなかったため。			
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか	○	事業の実施に必要な経費のみ計上しているため、コストの削減に努めている。			
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか	○	成果実績は成果目標を超えている。			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	活動実績は概ね見込みに見合ったものとなった。			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	成果物はチーム医療推進会議等において結果を公表している。			
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○			
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
	厚生労働省医政局地域医療計画課	022	在宅医療・介護の推進			
点検・改善結果	点検結果	当事業は、専門的な臨床実践能力を有する看護師が医師の包括的指示を受け、看護業務を実施できる仕組みを構築するための課題や方策を検討することを目的としている。平成25年度は、施設により事業開始時期にばらつきがあり、当初予定していたより申請が少なかったため、活動実績が下回っていたが、平成26年度はおおむね活動実績に見合ったものとなった。また、コスト当たりの単価も昨年度と比べ縮減した。				
	改善の方向性	医師又は歯科医師の判断を待たずに、手順書により、一定の診療の補助(特定行為)を行う看護師を計画的に養成するための研修制度(「特定行為に係る看護師の研修制度」)を創設し、平成27年10月より実施することとしたため、事業目的を達成し、事業終了とした。				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成26年度をもって終了すること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	-	平成23年度	新24-005	平成24年度	新24-004	
平成25年度	29	平成26年度	27			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
21百万円

【補助】

A. 医療機関(39)
21百万円

事業内容
・看護師の従事する施設から看護師等の
業務の実施状況等に関する情報の報告
を受け、業務の安全性等を検証

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万
円)

費目・使途 （「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載）	A.独立行政法人国立病院機構東京医療センター			E.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	給与費	指導医人件費	0.6			
	計		0.6	計		0
	B.			F.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0	
C.			G.			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
計		0	計		0	
D.			H.			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
計		0	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人国立病院機構東京医療センター	看護師等の業務の実施状況等に関する情報の報告を受け、業務の安全性を検証	0.6	-	-
2	医療法人アスミスわくわく訪問看護ステーションおやま	看護師等の業務の実施状況等に関する情報の報告を受け、業務の安全性を検証	0.6	-	-
3	医療法人社団三喜会鶴巻温泉病院	看護師等の業務の実施状況等に関する情報の報告を受け、業務の安全性を検証	0.6	-	-
4	医療法人誠医会川崎大師訪問看護ステーション	看護師等の業務の実施状況等に関する情報の報告を受け、業務の安全性を検証	0.6	-	-
5	江別市立病院	看護師等の業務の実施状況等に関する情報の報告を受け、業務の安全性を検証	0.6	-	-
6	大分県厚生農業協同組合連合会訪問看護ステーションつるみ	看護師等の業務の実施状況等に関する情報の報告を受け、業務の安全性を検証	0.6	-	-
7	学校法人杏林学園杏林大学医学部付属病院	看護師等の業務の実施状況等に関する情報の報告を受け、業務の安全性を検証	0.6	-	-
8	学校法人国際医療福祉大学熱海病院	看護師等の業務の実施状況等に関する情報の報告を受け、業務の安全性を検証	0.6	-	-
9	学校法人国際医療福祉大学三田病院	看護師等の業務の実施状況等に関する情報の報告を受け、業務の安全性を検証	0.6	-	-
10	学校法人埼玉医科大学総合医療センター	看護師等の業務の実施状況等に関する情報の報告を受け、業務の安全性を検証	0.6	-	-